

令和7年度 指定管理者評価結果票

所 管 課	健康福祉部 高齢福祉課
評価対象期間	R7.4.1 ~ R8.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県立飛騨寿楽苑
	所 在 地	飛騨市古川町是重102
指定管理者	名 称	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
	構 成 員	—
	所 在 地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31
指定管理業務の内容		・施設の管理に関すること。 ・老人福祉法第20条の5の規定により施設介護サービス費の支給に係る者等を入所させ、養護すること。 ・老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業及び同条第4項に規定する老人短期入所事業を行うこと。 ・その他仕様書に定めること。

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
R5	45,479
R6	46,788
R7	47,094

R5	R6	R7
45,479	46,788	47,094

3 令和7年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	709,063
利 用 料 金	695,294
指定管理料	0
そ の 他	13,769
支 出 計	729,889
人 件 費	511,487
施設管理費	205,029
そ の 他	13,373
差 引	▲ 20,826
納 付 金	—

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・入浴に係る個別マニュアルの作成や取組は素晴らしいと思うが、無理のない対応が必要であり、継続可能な範囲はどこまでかを職員間で検討し進めていくと良い。	・寝たきりや認知症の状態になっても、その方が大切に生きてきた生活習慣を尊重し、自分らしく過ごせるようなサービス提供を継続していきたいと考えている。併せて、職員の負担にも配慮し、無理のない範囲で取組を進めていきたい。
・離職率を少なくする努力を行うこと。	・令和7年度の介護職の離職者は、1名であった。職員が辞めない職場環境づくりとして、給与改定や育児・介護・看護に関する事情を抱える職員に対し勤務調整や休暇取得への配慮を行っている。引き続き、働きやすい職場環境の整備に努める。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	4.5	・重度者の受け入れや看取りケア、あるいはユニットを生かした徹底した個別ケアを行っている。 ・男性の育児休業や復職後の時短勤務が活用されている。 ・正規職員の定年の延長を検討すること。
設置目的の達成状況	3.7	・閉鎖中のユニット(20床)の再開に向けて計画的に取り組んできた。 ・CS調査(利用満足度調査)の回答率が増加した。 ・LIFE(科学的介護情報システム)の活用が遅れているため、活用を進めていくこと。
公共性の確保の状況	4.4	・防災のため危機管理委員会を中心にした体制がとられている。 ・防災訓練等を中学生と合同で行うことで、介護の現場を知り魅力を伝えることができるので、一緒に実施されると良い。 ・南海トラフ巨大地震などに備え耐震化や家具の転倒防止など取り組むこと。
経営状況	3.1	・入所率が向上している。 ・デイサービスやショートステイの利用者の確保のために地域との連携を行っている。 ・ユニット再開で収入の増加が期待できるが、引き続き安定した経営を期待する。
派生的効果	4.4	・ボランティアや実習生等を受入れ、地元の「ふるさと祭り」の再開など地域住民との交流ができています。 ・地域の方とのつながりを大切にしている。 ・福祉避難所としての機能などを行政と連携し地域にも広報すること。

<評価基準>

5	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
S	・ボランティアや実習生等の受入れ、地元の「ふるさと祭り」の再開など、地域との連携を重視した施設運営が行われており、指定管理者として優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する